

NISA〈ニーサ〉が

(少額投資非課税制度)

平成26年1月からスタート!



新制度NISAのポイント

- 1 毎年100万円までの投資額からの収益(売却益・配当)が、非課税に!
- 2 非課税期間は、投資した年から5年間!
- 3 利用目的は、自分次第(老後資金やこどもの教育資金などなんでもOK!)
- 4 日本に住む20歳以上の人が利用できる!

NISAの対象となる投資

平成26年から平成35年までに行う上場株式や公募株式投資信託等への年間100万円までの投資

※預貯金や債券(公社債等)は対象となりません。

注意!

・NISA口座は、「一人一口座」!

(一人につき一つの金融機関でしか申込み・開設できません。万一、複数の金融機関で申し込まれた場合、申し込まれた金融機関のうちから最も希望する金融機関以外でNISA口座が開設されたり、口座開設が大幅に遅れたりするなどのおそれがあります。)

・NISA口座において投資できる金融商品は各金融機関によって異なりますので、NISA口座申込みの際の金融機関の選択に当たってはよくご検討ください。

・収益(売却益・配当)が発生しても非課税となりますが、損失が発生してもその損失はないものとみなされます。(損益通算や損失の繰越控除はできません。)

投資にはリスクもある。詳しくは裏面をみてみよう!



投資のキホン

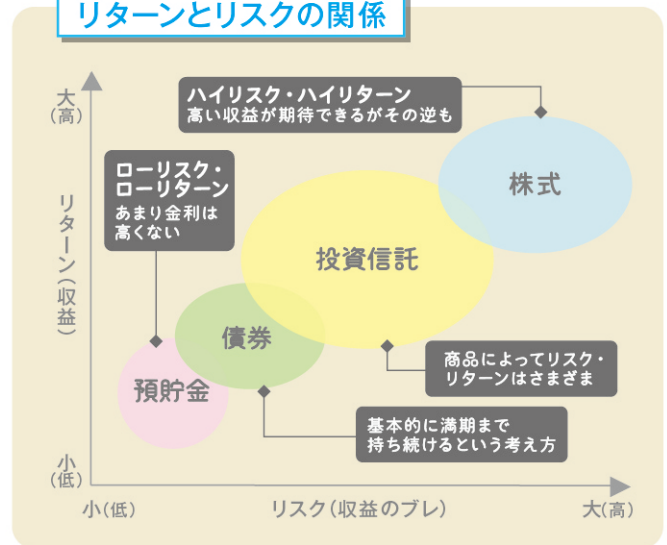
はじめる前に知っておこう!



「リターン」が大きいほど「リスク」も大きい

- ◆ 金融商品に投資すれば、「リターン」と「リスク」があります。
- ◆ 「リターン」とは、投資を行って得られる収益のことをいい、「リスク」とは「リターン」が確実でないことをいいます。「リスク」が大きくなると、「損失(マイナスのリターン)」が発生することもあります。
- ◆ 「リターン」と「リスク」の大きさは、金融商品の種類によって様々ですが、一般的には「リターンが大きいものほど、リスクも大きい」といえます。したがって、大きな収益(リターン)を期待すると、リスクは大きくなり、大きな損失が生じる可能性も高くなるといえます。

リターンとリスクの関係



投資リスクを軽減させる3つの方法



1 中長期保有

一時的には大きく価格が変動する金融商品も、中長期保有することによってリスクを回避しやすくなります。

2 資産の分散

様々な種類の金融資産に分散して投資すれば、リスクも分散できます。

※預貯金や債券(公社債等)はNISAの対象とはなりません。

3 時間の分散

一度に全額投資するよりも、投資時期を何回かに分けて分散させることでリスクを抑制できます。



口座の開設の方法など...
詳しくはこちら!

